

2025年8月

各位

東北生産性本部

2025年度 生産性向上定例セミナー「第3回例会」の開催について（ご案内）

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。当本部の活動に対しましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、生産性向上定例セミナーを以下のとおり開催いたしますので、ご案内申し上げます。

ご出席を希望される場合は、9月8日（月）までに電子メール又はFAXにてご連絡くださいますよう、お願いいたします。

敬具

■開催要領

日 時：2025年10月7日（火）14時30分～16時30分（質疑応答を含む）

会 場：『東北電労会館』 仙台市青葉区立町20-1 TEL022-261-3265

講 師：独立行政法人労働政策研究・研修機構

労働政策研究所長 濱口 桂一郎 氏

テーマ：「賃金とは何か？～これからの賃金の在り方～」（仮題）

参加費：会 員 企 業・団体：1名につき 4,500円（消費税込み）

非会員企業・団体：1名につき 6,000円（消費税込み）

■講師プロフィールほか

1958年生まれ大阪府出身、1981年東京大学教養学部卒業、1983年東京大学法学部卒業。労働省（現厚生労働省）に入省し、欧州連合日本政府代表部一等書記官、労働福祉事業団総務部総務課長、衆議院調査局厚生労働調査室次席調査員などを歴任。

2003年より、東京大学大学院法学政治学研究科附属比較法政国際センター客員教授を務め、2005年より、政策研究大学院大学教授を歴任。

2017年より、労働政策研究・研修機構労働政策研究所長に就任し現在に至る。日本型雇用システムの問題点を中心に、労働問題について幅広く論じている。諸外国の雇用システムと日本の雇用システムを対比するために「ジョブ型」「メンバーシップ型」という語を提唱した。ただ世間で流行しているジョブ型論には誤解が多いと警鐘を鳴らしている。

主な著書に、『新しい労働社会—雇用システムの再構築へ—』（岩波新書）、『日本の雇用と労働法』（日経文庫）、『若者と労働—「入社」の仕組みから解きほぐす—』（中公新書ラクレ）、『働く女子の運命』（文春新書）、『ジョブ型雇用社会とは何か—正社員体制の矛盾と転機—』（岩波新書）など他多数。近著に『働き方改革の世界史』ちくま新書（2020年）、『賃金とは何か～職務給の蹉跌と所属給の呪縛か～』朝日新書（2024年）

2025年度 生産性向上定例セミナー 第3回例会開催要項

1. 開催日時 2025年10月7日（火）14時30分～16時30分
（質疑応答含む）
2. 会 場 『東北電労会館』
仙台市青葉区立町20-1 TEL022-261-3265
3. 参加費 会員企業・団体：1名につき 4,500円（消費税込み）
非会員企業・団体：1名につき 6,000円（消費税込み）
4. 申込期限 2025年9月8日（月）
5. 申込み・問合せ先
東北生産性本部
〒980-0021 仙台市青葉区中央二丁目9-10
電話：022-261-0411 緊急時連絡先：080-8056-3810
FAX：022-261-1474
E-mail: tpc3@t-productivity-ce.jp
担当者：橋浦、高津

（FAXされる場合は、本書をそのままご使用ください）

2025年 月 日

東北生産性本部（2025年度 生産性向上定例セミナー 第3回例会）行
FAX 022-261-1474

参加申込書

会社・団体名 _____
所在地 〒 _____
電話 _____ FAX _____
担当者氏名 _____ 所属・役職 _____
E-mail _____ @ _____

ご出席者

所属・役職	氏 名

後日、請求書を送付させていただきます。